

野村いくよ 市政報告だより

No.34
2024. 2. 1



枚方市被爆二世の会千羽鶴奉納（8月4日）

すべては子どもたちの今・未来のために…

ニューズが届くころは立春を迎え、少しは春めいている頃ですね。いかがおすごしでしょうか。

2024年は、能登半島の地震に、羽田空港での飛行機衝突事故で始まりました。お亡くなりになった方々にはお悔やみを申し上げ、被災された方々には心よりお見舞いを申し上げます。一日も早く平穏な日常に戻れることを願っています。

さて、2023年はどんな年だったでしょうか。ロシアのウクライナに対する軍事侵攻の長期化、イスラエル軍のガザ地区への攻撃等、子どもたちをはじめ多くの命が奪われてきました。

政府は、殺傷能力のある武器輸出を国会の審議も経ず解禁しました。沖縄県民の民意を無視した辺野古基地建設、現政権は閣議決定で物事を進めていくことが多すぎます。年末には、自民党の裏金問題が大きく取り上げられました。岸田政権に対する支持率の下降、こんな時こそ、私たちは、平和と民主主義を守るために大きく前進していかなければならないのです。

しかし、政治に対する信頼度が低いから無関心な人たちも多くなっているのではないのでしょうか。選挙に携わるたびに、半分にも満たない投票率に悔しい思いをしています。

枚方市長の3期目の所信表明で最重要施策として、「子育て環境の充実」「市駅周辺再整備によるにぎわいの創出」が掲げられています。

子育て環境の充実には異論はありませんが、その中に「社会で生き抜く力を身につける教育」とありました。「生き抜く力」を身につける教育って何だろう？「にぎわいの創出」って何だろう？文化生涯学習課や文化財課、スポーツ振興課がある部署が「観光にぎわい部」という名称でいいのだろうか？

また、持続可能な発展（SDGs）ということで、「社会・環境・経済の3側面の調和を追求」も掲げられています。これももちろん重要課題です。その中に「多文化共生社会の実現」がありました。2020年に「国際化施策に関する考え方」を策定していますが、中心に担う部署がよくわかりません。聞きたいことがたくさんあります。

枚方市は、府内でいち早く「非核平和都市宣言」をした自治体です。私はそれを誇りに思っています。12月定例会議会初日に、「ガザ地区における平和の実現を早期に求める決議」を全会一致で可決しました。

平和を求め、多様性を誇りに、分かち合いを力に、支えあいを安心に、そんな社会の実現をめざし、一人でも多くの人とつながり歩んでいきたい！とつくづく思っています。これからも市議会議員としての責務を果たすべく尽力してまいります。ご支援、ご協力賜りますようお願いいたします。

野村いくよの 活動日誌 (抜粋)

おもな活動を記載しています / Facebookもやっています

野村いくよ公式ホームページ URL:nomura-ikuyo.com/

8月

- 4(金)~6(日) 被爆78周年原水爆禁止世界大会・広島大会 フィールドワークで大久野島を訪れました。毒ガス製造が行われていた島で、戦争中は秘密の島として地図から消されていました。被害と加害の両方を知る広島大会となりました。
- 26(土) 第33回大阪・母と女性教職員集い 全体会「これからの学校と社会を変えていこう おとなと子どもの市民宣言」学校を変えるための8つの提言が素晴らしいです。
- 29(火) 国際女性年大阪連絡会8月平和集会「戦争を回避せよ」新外交イニシアティブ代表猿田佐世さん

9月

- 8(金) 映画鑑賞「バッドマン 5億人の女性を救った男」前年の職員向け人権研修で生理について学んだ時に紹介のあった映画です。
- 10(日) 五常校区コミュニティ協議会第2回自治会長・専門部会責任者合同会議（第3回11月19日も出席）
- 11(月) 百済寺跡 築地塀復元工事見学
- 15(金) 教育子育て委員協議会 9月定例会議に向けて北河内平和人権センター学習会 谷雅志原水爆禁止日本会議事務局長から平和行進の意義等について改めて学びました。
- 26(火) 警防技術訓練披露 於枚方東消防署
- 27(水) 議会改革懇話会 座長を務めています。月1回実施。
- 29(金) 9月定例会議会初日 3期目当選した伏見市長所信表明

10月

- 1(日) 「広告ハンターと選挙ポスター観察！」小林美香さん・尾辻かな子さん 小林美香さんの著書「ジェンダー目線の広告観察」の内容の紹介。選挙ポスター観察を二人で行いながらの対談。いろいろ発見があって興味深い内容でした。即本買っちゃいました。
- 4(水) 連合北河内地域政策・政治フォーラム幹事会・議員団会議 2024年度予算要望の確認を行いました。
- 6(金) 各派代表者会議 伏見市長から公職選挙法に抵触する件についての説明を受け、質疑応答が行われました。
- 8(日) レインボーフェスタ2023 於扇町公園
- 11(水) 9月定例会議会二日目 議案審議 市長の給与減額について質問しました。
- 12(木) 枚方市追悼式
- 21(土) 高齢社会をよくなる女性の会全国大会「みんなで話そ！人生100年時代 地域で‘生’を全うするために」 於大阪経済大学地域医療28年実践してきた医師長尾和弘さんの講演はとてもエネルギーギッシュで、「痛くない死に方」の映画を思い出していました。「尊厳死」の大切さを学びました。
- 29(日) 五常校区コミュニティ協議会 第14回五常文化祭 いろいろな作品に心が温かくなり、四中・香里丘高校の吹奏楽部の演奏に楽しませていただきました。

11月

- 3(金・祝) 枚方市防火協会・寝屋川市防火協会創立70周年記念式典及び祝賀会 於リーガロイヤルホテル大阪 祝賀会で消防組合会議長として祝辞を述べました。

- 4(土) であいの会40周年記念行事 40年前は、第四中学校の4年目、Tくんのいるクラスの副担任でした。そのであいから、会員に。みなさん40年ありがとうございました。
- 10(金) 枚方寝屋川消防組合協議会全員協議会・視察 視察先は、大阪府立消防学校・守口消防署
- 11(土) J R西労議員団会議第34回総会
- 15(水) 第63回大阪府市議会議員研修会「脳を知り 脳を育み 脳を鍛える」東北大学加齢医学研究所 川島隆太教授
- 16(木) 枚方地方自治問題研究会現地研修会「高槻の歴史とまちづくりを学ぶ」 史跡今城塚古墳・今城塚古代歴史館、安満遺跡公園、しろあと歴史観見学。今城塚古代歴史館前特別館長森田克行さんの講演を拝聴。歴史・文化への思いの熱量に圧倒され、感動です。
- 17(金) 立憲民主党大阪府連企業団体政策制度意見交換会(18日も) 団体さんの活動や国や自治体への要望等をお聴きしています。
- 20(月) おおさかヒューマンライツ自治体議員の会総会 ①「SDGsと人権～貧困や社会的課題の解決に向けて～」岡島克樹大阪大学教授 ②「大阪府ネット上の誹謗中傷及び差別等の人権侵害のない社会づくり条例の動向」高橋定さん
- 21(火) 枚方組女性部養護教員部学習会「包括的性教育について」
- 22(水) 人権講演会 主催：枚方人権まちづくり協会・枚方市人権教育研究協議会「ネット人権侵害と部落差別の現実～『寝た子』はネットで起こされる～」川口泰司さん(山口県人権啓発センター事務局長)
- 24(金) しおん会秋の親睦旅行研修会 石清水八幡宮 ガイドさんからの説明も楽しかったです。
- 26(日) ひらかた多文化フェスティバル 於ニッパーク岡東中央連合大阪政策政治フォーラム第10回総会
- 27(月) 教育子育て委員協議会 12月定例会議会に向けて
- 28(火) 連合大阪河北地区協議会として2024年度予算要請行動(枚方市へ)
- 29(水) ひらら光善寺内覧会 光善寺駅周辺が大きく変わろうとしています。

12月

- 1(金) 各派代表者会議・議会運営委員会
- 2(土) ピース映画会「ワタシタチハニンゲンダ！」多くの方に来ていただき、感謝です。「在日外国人への差別をなくす」強い思いで映画の製作をされている高監督の言葉に触れ、この映画を一人でも多くの人に観ていただき、ともに一步を踏み出していきたいと思っています。
- 6(水) 枚方市人権週間事業 ウクライナの歌姫ナターシャ・グジーコンサート～水晶の歌声とバンドゥーラの可憐な響き～バンドゥーラの楽器の音色も素晴らしかったし、歌声も本当に素敵でした。
- 15(金) 12月定例会議会一般質問 2番目に質問に立ちました。傍聴に来ていただいた皆さんありがとうございました。
- 17(日) 立憲おおさかつながるミーティング・自治体議員フォーラム近畿・女性自治体議員フォーラム近畿総会・懇親会
- 19(火) パレスチナ・ガザ攻撃をやめろ！おおさか総がかり緊急集会 於中之島公園 野党リレーアピールで、枚方市議会で決議を上げたことを報告し、ガザの惨状とガザに平和を！と訴えました。
- 23(土) 学習会「自治体議員が知っておくべき『困難女性支援法』」雪田樹里さん(認定NPO法人いくの学園理事長/弁護士)主催：立憲民主党大阪府連ジェンダー平等推進委員会・ハラスメント防止委員会
- 25(月) 枚方寝屋川消防組協議会本会議

2024年 1月

- 8(月・祝) 第74回枚方市はたちのつどい 於第四中学校
- 12(金) 市議会災害対策連絡会議
- 30(火)・31(水) 教育子育て常任委員会先進都市研修 千葉県柏市(部活動地域移行について) 東京都大田区(不登校支援について)



レインボーフェスタ 北野聡子宝塚市議会議員と尾辻かな子さん (10月8日)



立憲月イチ街宣 (11月6日)



大久野島毒ガス資料館 (8月5日)

号外
立憲民主
RIKKEN MINSHU

2024 立春号
号外
立憲民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1 三宅ビル7F
電話03-3595-9988
https://cdp-japan.jp/

9月定例会議会（9月29日～11月6日）

定例会議会初日9月29日、三度目の当選を果たした伏見さんが新市長として所信表明をおこない、10月6日、10日に所信表明に対して各派から代表質問が行われる予定でした。

しかし、10月1日に伏見市長が「祝勝会」の横断幕が掲げられていた集会に出席し、横断幕のところであいさつしている写真がメディアによって報道されました。

これは、選挙後の当選祝賀会の開催を禁じた公職選挙法に抵触する恐れがある行為です。本人は、「祝勝会」という意識はなく、「選対本部の解散式」という認識で出席したということでした。どちらにしてもアウトです。

市議会としての対応について何回も各派代表者会議が開かれ、問責決議をあげることにしました。

伏見市長は自身の倫理の保持に資する制度として「枚方市長の職務に係る倫理に関する条例」を2016年10月に制定しましたが、「第3条（3）市民全体の代表者として、その品位や名誉を損なうような一切の行為を慎み、その職務に関し、市民から不正の疑惑を持たれる恐れのある行為をしないこと」に自ら条例違反することにはなりました。

10月11日（定例会議会2日目）に、冒頭に議長から公職選挙法に抵触の恐れがある行為についての説明を市長に求め、その後問責決議を提出しました。

問責決議の提案は、公明党議員団、共産党議員団、自民党創政会、連合市民の会を代表して私が行いました。結果20対11で可決されました。

議案第37号

「市長等の給与に関する特別措置条例について」

特別措置条例によって、市長をはじめとした特別職は、第2期目に引き続き給与の減額をする中、市長だけが減額割合が多くなっています。これは、減額割合を多くすることによって「法令違反の恐れがある行為」の幕引きをしようとしているのではないかと考え、質問し、市民にもあらためて丁寧な説明、対応を行うことをあらためて要望しました。



消防組合議会視察（11月10日）



一般質問（12月15日）

12月定例会議会（12月8日～22日）

12月15日の2番目に一般質問を行いました。

1 子どもの虐待について

4年前の所信表明に対する代表質問で、私は児童相談所の設置を要望しました。虐待防止のために相談に力を入れ、虐待しないような環境をつくっていききたい、という担当者の思いを受け止め、それ以降は、要望を行っていませんでした。

今回の所信表明に「児童相談所」設置に向け準備を進める、とあったので、本気度を確かめるための質問としました。

現状は、虐待通告件数は増加傾向にあります。児童養護施設が北河内に一つもなくよいのか、とも思っています。子ども家庭センターも手一杯という状況でもあります。そのようなことを考えると、人材育成等時間はすぐかかるけれど、全力を挙げて本気でとりにくんでいく決意ならば、必要な時間はたっぷりかけて着実に子どもを守る仕組みづくりに臨むよう強く要望しました。

2 総合教育会議について

2015年4月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正によって教育委員会制度が変更され、その一つとして総合教育会議を市長が設置し、教育大綱の策定や様々な教育に関する課題などについて、教育委員会との協議、調整する場として運営することになりました。

総合教育会議の事務局及び教育大綱の策定について、11月に教育委員会から市長部局へと所管が変更され、今年度第1回の総合教育会議が開かれ、傍聴しました。市長に同調する意見が多く、教育委員会の独立性が保たれるのか、疑問に思い質問しました。

ヤングケアラーやひきこもり、子どもの貧困等、福祉との連携の必要性がある課題については、子どもを真ん中において確実に連携をとるべきであるが、教育委員会は首長から独立した執行機関であることを堅持するべきであることを強調しました。

3 子どもの気持ちの視覚化及びSNS相談について

Q 質問

学校現場においてのどのように活用し、とりくむつもりなのか。

A 答弁

「ぼーち」については、子どもが1日1回自分の気分と体調を入力する「気持ちの視覚化」の機能と子どもたちが学校以外の専門家にチャット形式で相談できるチャット形式で相談できる「SNS相談」機能の2つの機能を持ったアプリ。

「SNS相談」については児童・生徒が活用できるよう、学校が周知することを指示している。

「気持ちの可視化」については、この機能を活用して子どもたちの発するサインを見逃さないようにするための一つの手段になっている。

! 意見

「気持ちの可視化」についてはあくまでの一つの手段であり、全校がとりにくんでいないことを確認しました。朝の会や授業中の児童・生徒の様子を教職員は確認できます。児童・生徒の様子の変化に気づいたときに声をかけることが大切です。また、子どもたち同士でもお互いに気づきあえる学級集団を作ることが重要となります。

朝に子どもたちがタブレットにチェックしても現実、担任には確認する時間がほぼなく、子どもたちにもゆとりがないのが現状です。「ぼーち」を使うことを目的にするのではなく、小さな変化に気づけるように、心にゆとりをもって、教員が子どもと向き合う時間を働き方改革で確保できるようにすることがまず最優先すべきであることを意見として述べました。

4 支援教育について

Q 質問

枚方市支援教育充実審議会において活発な意見が交わされています。枚方市が支援教育において大切にされている理念とは。

A 答弁

障害の有無にかかわらず、すべての児童生徒の将来の自立、就労をはじめとする社会参加をめざし、その可能性を十分に引き出すとともに、すべての児童・生徒がともに育ちあうよう、「ともに学び、ともに育つ」教育を支援教育の理念としている。

! 意見

「ともに学び、ともに育つ」教育は今後も継続していくべきです。障害の有無にかかわらず



能登半島大地震被災者支援募金活動
山田けんた府議と（1月13日）

ての子どもたちが多くの時間を同じ場所で学ぶことで、お互いが成長していくことができます。

通常学級において、支援や配慮を必要とする子どももそうでない子どもとともに学びあう環境づくりが大切であると確信していること、「自立」とは、「助けが必要な時に助けを求めることができ、頼れること」であり、お互いに助け合うことができる関係を築くことが重要であることを意見として述べました。



「ワタシタチハニンゲンダ!」
上映会（12月2日）

5 不登校支援について

児童・生徒にとって多様な学びの場が選択肢として示されることは、必要だと思います。しかし、本来学校が果たす役割を考えると、何らかの理由で学校になじめない、排除される子どもがいるということで良いのか、「他に通える場、居場所があるから」では学校の本来の役割を果たしているとは言えないと思います。

それぞれ背景が異なる子どもたち、多様な子どもたちがいるのは当たり前であり、ともにいることから生まれてくるのは子どもたちの関係性であり、お互いを信頼し支えあい、行動できる集団です。違いを認め合い、尊重しあう、誰一人排除しない集団です。

「一斉授業からの脱却」「個々の学びを保障するわかりやすい授業の工夫」「自分という存在が大事にされている」と実感できるような「魅力ある学校づくり」の推進、との答弁です。

「今こそ、学校が変わらなければならない」と意見として述べました。

6 学校の働き方改革について

市長が「全庁一丸となって教員の働き方改革の推進をする」と発表しました。大歓迎です。

「学校が変わる」ためには、さらなる少人数学級、様々な角度からのサポートも必要となります。現在の教職員の働き方では、さらなる負担増になるかもしれません。教職員の多忙化解消に大きく影響するのは、人的保障と配置です。教職員の心のゆとりは、子どもの心に影響します。

予算編成権がある市長には、現場の状況を把握し、処遇改善を含む大胆に教育に関わる予算編成を行い、働き方改革を本気で進めることを要望しました。

すべての子どもたちにとって安心な居場所、多様性を認め尊重し合う、誰一人排除しないインクルージョンな学校であるべきです。そして、「生き抜く力」を身につけ、競争社会の中で勝ち組をめざすのではなく、「生きあう」関係を築ける学校改革をすすめることを求めました。